

## 令和２年度行政評価（事務事業評価）

（令和２年１０月１３・１４日調査）

町では、まちづくり基本条例第 20 条第 2 項の規定に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和元年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例第 10 条第 2 項の規定による決算説明資料として議会に提出した。

議会では、議会のチェック機能の強化と併せて、翌年度への予算へ反映させることを目的に、議会としての評価を実施した。

評価方法と結果は、次のとおりである。

### 【評価方法】

議会による行政評価（事務事業評価）要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した 4 段階評価（◎・○・△・▲）を行い、所管常任委員会毎に評価を示し、総合的な説明を加えた。

### 【評価結果】

総務教育常任委員会が所管する 41 件の行政評価、経済福祉常任委員会が所管する 29 件の行政評価、合計 70 件の結果は、次のとおりである。

## 議会による行政評価（事務事業評価）結果表（総務教育常任委員会）

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.1 会議録調整費	5	2	A	A	A	A	◎	目標期間の短縮を図り、引き続き迅速な会議録の作成を期待する。
No.2 情報公開費	6	2	A	A	A	A	◎	引き続き住民に興味を持って見てもらえるよう、更なる工夫を期待する。
No.3 職員研修費	5	3	A	A	A	A	○	知識研修、接遇研修、専門的研修の質的向上を図り、メンタルヘルスの研修も検討願いたい。
No.4 車両管理費	4	3	A	A	A	A	○	引き続き各車両の整備点検を進め、前後録画できるドライブレコーダーの全車完全設置を進められたい。
No.5 交通安全対策費	5	3	A	A	A	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、効果的な啓発の更なる工夫を図られたい。
No.6 町民運動対策費 (青少年外)	5	3	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。犯罪・非行の防止のための情報発信に努めてもらいたい。
No.7 インターネット 事業費	4	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、Wi-Fi 環境の整備、インターネット利用拡大の取り組みを期待する。
No.8 ホームページ管 理費	5	2	A	A	A	A	○	統計資料等の基本的事項や行事内容を積極的に発信するよう努められたい。また、検索が容易にできるよう検討されたい。
No.9 生活館等管理費	6	3	A	A	A	A	○	公共施設維持保全計画の基本方針に基づき、施設の維持等適切な措置と有効活用を期待する。
No.10 災害対策費	7	2	A	A	A	A	○	個別受信機的良好利用のため継続的なメンテナンスが必要。特に、千軒地区の抜本的な雑音対策を更に検討されたい。
No.11 防災備蓄品整備 事業	6	3	A	A	A	A	○	災害発生時、遅滞なく対応できる備蓄品の更なる整備を期待する。
No.12 町内会連合会助 成費	7	3	A	A	A	A	○	住民参加を目指した住民活動の統一的な組織体制を検討されたい。
No.13 文書広報費	6	3	A	A	A	A	○	今後とも町民に分かりやすい広報誌の発行に努めるとともに、ちらしの集約化等を検討されたい。
No.14 バス待合所管理費	5	4	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な施設の維持管理を期待する。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.44 教育委員会費	10	3	A	A	A	A	○	今後とも町の教育の状況を的確に把握し、活発な議論が展開されることを期待する。
No.45 教育関係団体・ 大会参加助成費	8	3	A	A	A	A	○	各種団体等の状況等を十分把握し、助成事務を執行されたい。
No.46 福島商業高等学 校存続対策費	7	2	A	A	A	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.47 友好町交流事業費	7	4	A	A	A	A	○	三市町交流事業を推進するとともに、新たな地域との交流の展開を期待する。
No.48 AL T招致費	7	4	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.49 児童生徒輸送費	9	3	A	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.50 就園・就学奨励 援助費	8	4	A	A	A	A	◎	引き続き対象世帯の経済的負担を支援されたい。
No.51 奨学金貸付費	7	4	A	A	A	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
No.52 基礎学力向上支 援事業費	6	4	A	A	A	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開されたい。
No.53 教員住宅整備事 業費	5	3	A	A	A	A	○	引き続き計画的な整備を進められたい。
No.54 私立学校振興費	6	4	A	A	A	A	○	幼児教育の充実が図られている。人口割合による目標数値の改定が必要である。
No.55 小学校管理費	10	3	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるように施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.56 中学校管理費	10	3	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できるように施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.57 学校給食センタ ー費	8	3	A	A	A	A	○	米等の地域食材の利用割合を上げ、メニューに工夫を加え、残さず食べられるおいしい給食の提供に努められたい。
No.58 学校給食センタ ー施設維持管理費	7	4	A	A	A	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安全な維持管理に努められたい。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説 明
No.59 社会教育総務費	6	2	A	A	A	A	○	町の社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.60 読書活動費	11	4	A	A	A	A	○	これからも、より町民に親しまれるような運営を期待する。
No.61 成人教育費	7	3	A	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No.62 青年教育費	7	4	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めるとともに、青年教育の新たな展開を検討されたい。
No.63 少年教育費	7	3	A	A	A	A	○	通学合宿や福島学ジュニアなど、新しい事業も取り入れているが、さらに積極的な展開を期待する。
No.64 芸術・文化費	7	4	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No.65 文化財保護費	8	4	A	A	A	A	○	チロップ館を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
No.66 保健体育総務費	6	2	A	A	A	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.67 総合体育館運営費	6	3	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
No.68 町民プール運営費	7	3	A	A	A	A	○	町民プールの有効活用を進められたい。
No.69 ファミリースポーツ公園管理費	6	1	B	B	B	A	○	利用者が高齢化等で減少する中で、児童生徒等の利用を促進する事業、利用拡大の検討をされたい。
No.70 福祉センター運営費	5	3	A	A	A	A	○	音響設備の点検・整備等、施設の適切な維持管理に努められたい。

議会による行政評価（事務事業評価）結果表 （経済福祉常任委員会）

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.15 戦没者追悼式事業費	5	1	B	A	A	A	○	遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを、引き継ぎ、防災無線を活用した全町的な黙とうをするなど、新たな展開を期待する。
No.16 社会福祉費	4	2	A	A	A	A	○	行政と社会福祉協議会が密接に連携し、引き続き高齢者や低所得者の生活安定のため、社会福祉業務全般について適切に執行願いたい。
No.17 高齢者行事費	5	2	A	A	A	A	○	全町的な行事の継続については評価します。今後は趣向を凝らし参加者に楽しんでいただけるよう期待します。
No.18 在宅福祉事業費	5	2	A	A	A	A	○	老人クラブの活発な活動に期待します。
No.19 吉岡総合センター管理運営費	4	3	A	A	A	A	◎	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
No.20 学童保育費	6	2	A	A	A	A	○	保育体制を確保の上、教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。
No.21 ごみ減量化対策費	7	0	B	C	C	C	△	可燃ごみ排出量は減少しておらず、現場の声を聞き、町民に対する生ごみの水切り徹底、無駄なごみを出さない生活様式の改善を徹底指導するよう検討されたい。 (3R:リデュース、リユース、リサイクルの周知徹底)
No.22 保育所費	7	3	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し特色のある認定こども園の運営を期待する。年齢バランスを考えた正職員の採用を検討願いたい。
No.23 社会福祉総務費	6	3	A	A	A	A	○	社会福祉業務全般について、適切に執行願いたい。
No.24 重度心身障がい者等 タクソール金助成事業費	5	3	A	A	A	A	○	引き続き適切に執行願いたい。
No.25 老人福祉費	6	3	A	A	A	A	○	検証を行い、高齢者に対する利便性のある事業として一本化することも必要ではないか。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.26 健康づくり推進 費	7	3	A	A	A	A	○	健康づくり推進員と保健師が連携しながら、日常生活の中で健康に対する意識の醸成を促す活動に力点を置かれない。
No.27 医療対策費 (保健衛生総務費)	5	1	B	A	A	A	○	毎年度貸付実績がない状況であることから、その要因を分析し、今後の対応を検討すべきである。
No.28 医療対策費 (医療対策費)	7	3	A	A	A	A	○	広域的な取り組みを進められたい。
No.29 老人保健費	7	3	A	A	A	A	○	町立診療所と連携した在宅リハビリ（作業療法士等の配置）を充実させるための検討をされたい。
No.30 活性化センター管 理運営費	6	2	A	A	A	A	○	地域文化の活動拠点としての利用と、食や歴史等の町内外への情報発信を期待する。
No.31 多面的機能支払交 付金事業費	5	2	A	A	A	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.32 熊等による被害対 策費	7	3	A	A	A	A	○	ハンター後継者の確保に努力し、捕獲後の処理負担を軽減するための協力体制の構築と助成金の増額を検討すべき。
No.33 利子補給事業費	8	5	A	A	A	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
No.34 水産加工振興協議 会補助費	6	3	A	A	A	A	○	原料不足と価格高騰のため、当該補助の検証をしながら、基幹産業に対する強力な振興策を検討願いたい。
No.35 水産多面的機能発 揮対策事業費	5	2	A	A	A	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.36 漁村環境改善総合 センター運営費	6	1	B	C	C	C	△	福島については、改修し現状維持に努められたい。吉岡については、老朽化により使用休止していることから評価対象から除外すべきである。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.37 労働諸費	9	3	A	B	A	A	△	福島職業援護相談所は解散したが、職業紹介等の効果的な事業の改善、新規事業の工夫を期待する。
No.38 地場産業開発研究事業費	3	1	D	C	C	C	△	事業の硬直化、固定化が見られるため、現状をしっかりと分析し、効果的な事業の改善や新規事業の工夫が必要。また、設立趣旨を再認識し、構成団体・事業者の主体的な参画を喚起する対応が必要である。
No.39 観光振興費	8	3	A	A	A	A	○	当町の観光事業の実態とつくり工房の単独での体制確保は困難であり、早期に町の方針を示し、体制充実を図るよう指導・助言されたい。
No.40 横綱記念館管理運営費	5	2	A	A	A	A	○	九重部屋あつての記念館ということ意識し、貴重な資料を無駄にすることなく両横綱の偉業を顕彰し、大切に引き継いでいくことを期待する。購買グッズの充実についても検討されたい。
No.41 特産品センター管理費	5	3	A	B	B	B	○	道の駅としての評価が低い現状を踏まえ、内容充実を図るための再検討が必要である。
No.42 青函トンネル記念館管理運営費	7	2	A	A	A	A	○	情報発信が不足している。イベントも含めて積極的な施設の利活用を考え、第2の青函トンネル構想などの企画展示に積極的に取り組まれたい。
No.43 街灯料助成事業	7	2	A	A	A	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。

### 【来年度の評価に向けて】

現状の評価方法の達成度、効果性では適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした評価方法全般の改善と、目標設定のハードルを上げるなどの検討を更に進められたい。

また、評価は予算のみでないので、事務事業名については、「費」を省くべきと考慮するので、検討願いたい。